

第 34 回わんぱく相撲葵場所開催ガイドライン

策定 2022 年 1 月 25 日

本ガイドラインは、公益社団法人日本青年会議所「第 37 回わんぱく相撲全国大会出場マニュアル」の「第 5 章新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(2021 年 1 月 16 日改訂)」及び、「岡崎中央総合公園利用者が遵守すべき事項」に則り、第 34 回わんぱく相撲葵場所開催に際し、新型コロナウイルス感染防止等を示すものです。

本大会は、以下のガイドラインに沿い、政府・自治体の方針、地域の感染状況など十分考慮の上、安全に競技会の開催を目指します。

【競技会開催準備】

01) 会場選定

①密集対策として参加者（選手・役員）が、最低 1m の間隔を保つことができる施設を選定する。

02) 大会要項等の作成

①本ガイドラインを基に会場の実態等に合わせた「留意事項」を作成し要項に明記する（別紙）。また、「留意事項」は、大会プログラムに掲載し徹底をはかる。

②「留意事項」を順守できない場合は、出場させない旨を明記する。

③大会スケジュールの短縮に向けた検討を行い、感染リスクの低下をはかる。

03) 会場設営

①感染防止に関する注意事項を適切な場所に掲示し、周知を図る。

②入場者が密集しないよう区域割を行い、人の流れが向き合わない導線を示す。

③適切な場所に、手洗い場所、アルコール消毒場所を設置する。

④複数の参加者が触れると考えられる場所（トイレや支度部屋を含む）の消毒、控室等の換気を定期的実施する計画を作成する。

⑤東西の土俵溜では選手・副審の距離を可能な限り保つ。

04) 大会開催の判断について

①緊急事態宣言が発令され会場が使用できない場合のみ延期とする。その他、対応が必要な社会状況の場合は、5 月 10 日（火）第 5 回理事会後に大会開催について判断を行う。

【健康確認】

01)主催者は、参加者（選手・役員・監督・コーチ）に対し、当日の体温の他、競技会前2週間における以下の事項の有無について情報提出（別紙 新型コロナウイルス感染症に関する参加者同意書）を求める。

- ・ 氏名、年齢、住所、携帯電話番号、当日体温
- ・ 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）
- ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・ 嗅覚や味覚の異常
- ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

また、仮に大会で新型コロナウイルス感染症の陽性患者が発生した場合、上記の情報を岡崎市保健所へ提出する事の許諾を得る。それを拒む場合は、入場の見合わせを求める。

02)主催者は、参加者のうち当日の体温が平熱を超えるものや、1)の各事項について該当するものに対し参加の見合わせを求める。

03)主催者は、応援者・観客が 01)の各事項に該当する場合は、入場の見合わせを求める。

【当日受付】

01)窓口に手指消毒液を設置する。

02)受付には、アクリル板、透明ビニールカーテン等を設置する。

03)受付スタッフは、マスクを着用し、筆記用具は、個人専用のものを使用する。

04)入場者に対し、マスクの着用を求める。

05)待機列が発生する場所には、距離を置き並ぶよう立ち位置を示し、誘導整理する。

06)健康確認を行うものを別途配置し、【健康確認】01)の各事項について該当する体調不良者（発熱、咳、咽頭痛等）の入場を制限する。

07) 受付時の参加者の密集に配慮した誘導を受付担当者が実施する。

【参加者の責務】

01)競技時以外は、マスクを着用し、こまめに手洗い(30 秒以上)、手指消毒を行う。また、真正面での会話は避ける。競技時のマスク着用は怪我につながる恐れがあるため原則不可。

(事前に参加同意書などで保護者確認項目として追記する。)

- 02) 会場では、常に密集、密接、密閉を避けるように心掛ける。
- 03) タオル、うがい用の水（ペットボトル等を準備）は、自分専用のものを使用し、排水は定められた場所で行う。
- 04) 出場選手は、取組前後に消毒用アルコールティッシュ等で手指の他、顔面、胸、肩等を拭く。
- 05) 参加者同士の大声での声援、指示、指導は禁止とし、競技時以外は、決められた場所で周囲の者と十分な距離を保って観戦する。
- 06) 審判は、競技中もマスクを着用する。
- 07) 主審は、飛沫拡散を配慮し、通常より1歩程度後ろで動作を行う。
- 08) 主審の判定に異議・疑義が生じた場合、審判員は、マスク着用の上、隣の審判員と通常より若干の距離を取って協議を行う。
- 09) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する。

【引率者・応援者の責務】

- 01) マスクを着用していない者の入場は認めない。
- 02) 決められた場所で周囲の者と十分な距離を保つよう求める。
- 04) こまめに手洗い、手指消毒を行うよう求める。
- 05) 大声での声援は禁止とし、会話を控えることを周知する。
- 06) 上記の事項について、順守できない者は退場を求める。

【主催者の責務】

- 01) 主催者は、新型コロナ感染症対策の「会場責任者」を指名し、大会会場内の「感染防止策」の徹底に努める。
- 02) 「会場責任者」は、事前に立案された消毒、換気等の計画に基づいて、本ガイドラインが定める留意事項が順守されているか、巡回・確認する。
- 03) 役員及び「会場責任者」は、感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意し、大会本部に報告する。是正されない場合は退場を命ずる。
- 04) 表彰式の際は、表彰者はマスクと白手袋を着用し、選手はマスクを着用する。
- 05) 主催者は、施設利用後、使用した箇所を施設が用意した消毒液とタオルで消毒を行う。

06) 主催者は利用終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した者、濃厚接触者がいた場合、施設管理者に対し速やかに報告する。

05) 参加者等から収集した個人情報については、責任を持ち管理を行い 4 週間後に廃棄する。

【その他】

01) 関係者の飲食は指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとり対面を避けて、会話は控えめにすること。参加者は会場内での飲食は禁止とし、会場外での対応とする。

02) トイレの使用については、会場の規則を遵守し、使用後は 30 秒以上の手洗い、自分専用のタオルで手を拭くこと。

03) ごみの廃棄は以下のとおり行い、廃棄については、会場の規則に従う。

- ・鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する事。

- ・マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する事。

- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等は施設内に廃棄せず各自持ち帰る事。

- ・ゴミは各自で持ち帰る事。主催者が会場のゴミ処理の責任者とする。

04) このガイドラインに定める以外の問題が生じた際は、一般社団法人岡崎青年会議所で協議し決定する。